

自然公園など“北海道固有の在来種”で緑化したい場所に

北海道在来  日本芝

ホツカイターフ

優れた耐寒性、極めて低い草丈
北海道の環境に適した芝生です

北海道在来種の日本芝(野芝)を培養した、雑草が混入しづらい芝生です。本州産に比べ耐寒性に優れ、自社独自の越冬試験(稚内市、美幌町)で北海道の厳しい気候でも耐えることを確認しております。草丈が極めて低く伸速も遅いため、草刈り回数や維持管理を軽減したい公園や道路など公共の場所から、ご家庭のお庭まで様々な用途におすすめです。

栽培土工芝
(フェスクなど3~4種混合)
60~100cm

公園芝
(ケンタッキーブルーグラス)
30~40cm

ホツカイターフ
(日本芝(野芝))
5~20cm

季節による変化

11月になると地上部が枯れ、桜が咲いた頃に芽吹きはじめる「四季を感じる」芝生です。



5~9月頃



10月頃



冬

おすすめの活用場所

- 1 北海道固有の在来種で植生したい場所に
国定公園、国立公園や北海道自然公園などの自然公園など
- 2 消耗の激しい競技場や公園など
サッカー場やキャンプ場など
- 3 維持管理・草刈りを軽減したい場所に
河川築堤・道路路肩・中央分離帯など
- 4 植物の育ちにくい場所に
酸性土・海の近くのアルカリ性土・レキや軟岩の緑化など
- 5 日本庭園などの四季を楽しみたいお庭に



北海道
白老町

ウポポイ (民族共生象徴空間)



北海道
函館市

垣ノ島遺跡 (世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」)

販売元